

第59回 沖縄県中学校卓球競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 宜野湾市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県卓球協会
- 4 期 日 平成29年7月22日(土)～23日(日)
- 5 日 程 平成29年7月22日(土) 男女団体戦 9:00(予選リーグ)
男女個人戦 9:00(準々決勝まで)
7月23日(日) 男女団体戦 9:00(決勝トーナメント・ベスト4よりリーグ戦)
男女個人戦 9:30
閉 会 式 競技終了後
- 6 会 場 『宜野湾市立体育館』
- 7 申 込 締 切 日 各地区中体連の〆切日を厳守すること。
(国頭 6/13、中頭 6/14、那覇 6/15、島尻 6/14、宮古 6/19、八重山 6/9)
- 8 申 込 方 法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 県中体連卓球専門部
◎片野坂浩己(宜野湾) ○東 政仁(宮 里) ○玉那覇秀樹(大 宮)
名城 潤(大宜味) 知花 哲也(北中城) 親泊 哲男(上 山)
新垣 賢作(長 嶺) 大沼 正行(宮 里) 内原 徹(崎 枝)
大城 研(浦 添) 下地 研範(平 良)
- 10 参 加 資 格 (1)地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム・個人とする。
(2)選手の引率は出場校の校長・教員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のアドバイザーについては学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3)九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる学校であること
- 11 参 加 制 限 (1)団体戦は選手4～8名、監督1名、アドバイザー1名以内とする。
(2)個人戦に出場の選手も監督をつける。但し、団体と重複する場合は兼ねてもよい。
(3)団体男子 国頭4、中頭8、那覇6、島尻5、宮古2、八重山2チーム
団体女子 国頭4、中頭8、那覇5、島尻5、宮古2、八重山2チーム
(4)個人男女 国頭8、中頭16、那覇16、島尻14、宮古8、八重山8名以内とする。
- 12 参 加 料 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること。
- 13 競 技 形 式 (1)団体戦は3チーム又は4チームの予選リーグ、ベスト8チームトーナメント、ベスト4の決勝リーグ戦とする。
(2)個人戦はトーナメント及びリーグ戦とする。
- 14 競 技 規 則 平成29年度日本卓球協会の競技規則に準ずる。
- 15 競 技 方 法 (1)団体は4単1複の3点先取法とする。
(2)団体・個人戦とも5セットマッチとする。
(3)団体の試合順序は単・単・複・単・単とし、シングルスとダブルスは兼ねることはできない。
(4)オーダーは試合ごとに提出すること。
(5)個人戦の準々決勝は2ブロックによるリーグ戦とする。準決勝は他ブロックの1位と2位が対戦する。決勝は準決勝の勝者が対戦する。
[九州大会要項に準ずる。]
(6)5名編成は最初の単、4名編成は最初と次の単を不戦敗として試合を行う。(但し、組合せにより変更あり。)
- 16 試 合 球 T・S・P、ニッタクの公認球とする。(ホワイトボール：プラスチック)
- 17 組 合 本 部 (専門部)抽選とする。 6月22日(木) 15:30
- 18 表 彰 団 体 ・ 個 人 と も 第 1 位 ～ 第 3 位 ま で を 表 彰 す る 。
- 19 そ の 他 (1)ゼッケンについて
縦20cm×横25cmとする。
- | |
|-------|
| 姓 |
| 学 校 名 |
- (2)ユニフォームについて
団体戦は同一のユニフォームとする。
- (3)監督・コーチ・選手の変更は大会1日目の監督会(8:30)まで認める。
(4)男女団体優勝・準優勝チーム、男女個人第1位～第3位(計4組)までの者に九州中学校体育大会への出場資格を与える。
(5)県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。